

【授業改善推進プラン、4年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に向かう姿勢については、個人差が大きい。 ○意見は言えるが、意見をつなげて言える子は少数である。 ○漢字については、正しく読む、正しく書くことが低く、課題である。 ○言葉のきまりや文章の読解については、様子を表す言葉や物語文の読み取りなどが低く、課題である。 ○話を聞くことはできるが、その内容について自分はどう考えるかを習慣づける必要がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字については反復をして習熟を図るとともに、その意味や由来について調べる活動を取り入れる必要がある。 ○周りの意見を、自分の考えと比較しながら聞く習慣をつける必要がある。そのために、課題を正しく把握し、自分の考えをもてるようにする。 ○物語文や説明文の丁寧な読み取りが必要となる。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の小テストを定期的に行い、定着を図る。 ○話し合い、学び合いの場面の計画的な設定をする。 ○ICTを活用した文章の丁寧な読み取りを行う。 ○比較しながら話を聞く姿勢の習慣化。 ○自分の考えを文章化する時間の確保。 ○音読活動を通して、文章理解を深めさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の中から主語・述語を押さえる。 ○「その」「あの」「この」などの指示語は、何を示しているのか丁寧に押さえる。

【授業改善推進プラン、4年社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○社会的事象に対して関心意欲は高い。○地図の読み取りが苦手。空間的な感覚に乏しい子もいる。○資料から事実を読み取ることはできるが、必要な事実だけをピックアップすることは苦手。○学習したことに対してのふり返りをきちんと書き表すことができる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○社会的事象に触れあわせる機会が少ない。○知識の定着が薄い。○友達と考えを比較・関連付ける活動ができていない。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○社会的事象に触れあわせる。○地図に多く触れ、常に自分たちの位置から考えさせる。○友達との意見の交流をもたせる。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○資料を読むだけでなく「読んだことから何が考えられるか」の声かけをする。○ジャンルを問わず、多くの資料と触れる機会を作る。○1時間あたり、1資料には出会わせる。

【授業改善推進プラン、4年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に取り組む子どもが多いが、差もやや見られる。 ○新しい問題を考える際に、習ったことを活用したり筋道立てて考えたりする力、また、言葉・式・絵や図などを用いて解き方を表す力がやや不十分である。 ○自分の解き方をわかりやすく伝える力がやや不足している。 ○計算はおおむねできている。基本的な言葉の意味もおおよそわかっているが、個人差もみられる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導について、グループ編制の仕方等、更に改善していく必要がある。 ○文章題について、その内容を確実に理解させるよう、指導を更に工夫する必要がある。 ○困っている子どもに対しての支援の仕方について、更に研究する必要がある。 ○子どもの表現力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。 ○振り返りを通して、「何を身に付けたか」「苦手なことは何か」を確実につかませる指導を継続する必要がある。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導におけるグループ編制も含め、より子どもの実態に即した授業を行う。また、単元末に課題選択別学習を取り入れ、個に合わせた授業を行う。 ○文章題について、聞いていることやわかっていることを取り出す指導を十分に行う。さらに、問題場面を図や絵、数直線などに表わし立式できるようにする。 ○問題の解き方についてモデルを示し、問題解決の仕方を学ばせる。 ○問題が解けずに困っている子どもに対して、適宜小集団指導を行う。 ○発表や発言の仕方について、モデルを示す。 ○ノートのかき方、発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。 ○授業の終末に振り返りを確実にを行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題指導において、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認し、文章題の内容を確実に理解させる。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。 ○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを子ども同士で読み合う時間を設け、他の子どもが考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○問題の解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。それを発表させる前にどのように解決したのか考える時間を設け、読み解く力を伸ばす。

【授業改善推進プラン、4年理科】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○虫や植物に興味があり、実験に意欲的に取り組む。○観察、実験を通して、知識などを身に付けている児童と、なぜその実験を行っているのか、その実験で何が分かればいいのかをつかんでいない児童がいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○実験を行う目的を明確にさせる。○予想と根拠、実際の結果を比較させ科学的思考力を高めさせる工夫を行う。○実験の結果とその結果から分かること(考察)の違いを理解させ、理科的根拠のある言葉で表現させるための指導の工夫。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○実験・観察の結果から分かることをまとめるときに、「○○という結果から、△△ということが分かった。」というような、まとめ方の例を示すようにする。○板書などで視覚的にあらかじめ提示しておくようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○観察、実験に入る前に、予想や仮説を立てノートに記述させる。○観察、実験の結果を表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら考察し文章でまとめてノートに記述したりする。

【授業改善推進プラン、4年音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習に対する意欲は高いが授業規律はあまり守れていない。○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。○技能を生かしたり、友だちとやさしく教えあったりしながら学んでいる。○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術。○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が十分ではない。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○音楽の音色や音の重なりなどの聴き取ったことや、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化すると際に聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、リード分やポイントになる言葉を示しながらイメージを文章にする力を育てていく。

【授業改善推進プラン、4年図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○興味関心が高く、意欲的に創造活動をしている。 ○作品の完成までにかかる時間に差がある。 ○授業で使用する描画材・材料等忘れ物をする子どもがいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○絵では、形の把握に課題があるので指導する。 ○工作では、自分がイメージしたものを具体的に表現できるようにする。 ○安全に楽しく学習できる環境をつくる。
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○形の把握の改善では、素描の数を多くし、描写力を高める。 ○工作では道具、用具の使い方を細かく指導する。 ○工作のイメージを広げられるように、図や具体物を提示する等の指導をする。 ○安全に学習するために、道具のだし入れ、配置、置き方、手入れ等を配慮する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の子どもが間違いや失敗を恐れず、形・色・大きさ、材料の感じ、表現方法など活動や感覚を通して思ったことを表現し、自信をもたせるようにする。 ○作品の完成後には自分の作品の紹介、友達の作品について感想などを発表する時間を設け、自他の作品の良さや違いを認め合うなど共通理解させる。

【授業改善推進プラン、4年体育】

児童の状況	○体を動かすことは好き。 ○協力して運動する態度はよく育っている。 ○技能面で見たものをまねる力が乏しい。
指導についての課題	○技能の積み重ねができるような学習活動や場の工夫。 ○縄跳び運動など、日常的に練習できる学習計画の工夫。
授業改善にむけての具体的方策	○技能ポイントを示した鉄棒カードや縄跳びカードを作成し、進んで練習できるようにすることで、目標をもって取り組めるように指導する。また、学校全体での取り組みを行う。 ○十分に取得できていない技能は、学年をさかのぼって練習できるような学習の場を構成する。
読み解く力の育成	○技能ポイントなどを記した資料を子どもたちに配布し、イメージをもって運動に取り組むことができるよう図や動きなどを取り入れた資料を工夫して作成する。

【授業改善推進プラン、4年総合的な学習の時間】

児童の状況	○学習に対する関心は高く、意欲的に取り組む。 ○学習のめあてを意識して取り組むことのできる児童が多くなってきた。
指導についての課題	○活動の工夫や見通しをもった取り組みをさせるための指導の工夫。 ○児童一人一人に明確な課題をもたせるための指導の工夫。 ○ふり返りの充実。
授業改善にむけての具体的方策	○児童が主体的に学ぶことができるような魅力ある単元計画を考え、工夫していく。 ○活動の見通しを持たせ、ゴールを意識させ、共有していく。 ○資料の選び方やその活用の仕方及び多様な表現方法を、段階に応じて細かく指導する。 ○思考ツールやホワイトボードの活用など、主体的に活動できるような工夫をする。
読み解く力の育成	○ワークシートへ記述する際、主語、述語、修飾語、目的語に気を付けて文章化させる。

【授業改善推進プラン、4年外国語活動】

児童の状況	○意欲的に取り組んでいる。 ○昨年からの積み重ねがしっかりあるので、基本的な英単語、英会話はできる。
指導についての課題	○授業中の担任とALTの役割 ○担任のみで授業を行う際の授業の展開
授業改善にむけての具体的方策	○担任が、T1としての指導力を身に付けられるようにするとともに、楽しく会話したり、ゲームをしたりすることを実践していく。
読み解く力の育成	○英語表現と日本語の説明を結びつけられるようにする。 ○新しい語彙を確実に定着できるよう、繰り返し練習させる。

【授業改善推進プラン、4年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○資料を読み、葛藤場面で自分の立場を明確にし、意見を言うことができる。○意見を言えなくても、名札などで意思表示ができる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○小グループでの話し合いを通して自分の考えをふかめていくことができにくい。
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○葛藤場面があり、議論がわきおこるような教材を吟味する。○相手の考えを受け止め、改めて自分の意見を考えることができるようにするために時間を設定したり、書く活動を取り入れたりする。○発問を吟味する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○道徳的価値を見いだした理由を含めて記述させる。